

□特 集

平成 24 年人口動態統計（概数）の概要

合計特殊出生率が 0.02 ポイント減少

—全国は 0.02 ポイント上昇—

3大生活習慣病(悪性新生物(がん)、心疾患、脳血管疾患)による死亡率が増加

—総死亡数に占める割合 55.4%—

自然減少は過去最大

—出生数の減少、死亡数の増加の双方を反映して、過去最大の減少—

府健康福祉総務課

はじめに

人口動態統計は、出生・死亡・婚姻・離婚及び死産の5種類の「人口動態事象」について、その実態を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的として実施されています。

出生、死亡、婚姻及び離婚については、「戸籍法」による届出書から、死産については、「死産の届出に関する規程」による届書等から、その届出を受けた市区町村長が調査票を作成します。

これらの調査票は、保健所長、都道府県を經由し、厚生労働省に提出されます。

厚生労働省では、これらの調査票の毎月分及び年間分を集計して、人口動態統計月報（概数）、人口動態統計年報として公表しています。

この概要は、平成 24 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの間における京都府分について取りまとめたもので、数値は概数です。

1 出 生

—出生数・率とも前年より減少—

平成 24 年の出生数は 2 万 112 人で前年より 595 人減少しました。

出生率（人口千対）は 7.8 で、前年より 0.2 ポイント低下しました。

出生数の推移をみると、第 1 次ベビーブーム期（昭和 22 年～ 24 年）の、団塊の世代が誕生した時期は 5 万人台で推移していましたが、その後急激に減少し、昭和 32 年には 2 万 6,688 人まで低下しました。その後、昭和 41 年（ひのえうまの年）を除いて増加に転じ、昭和 48 年には第 2 次ベビーブーム期のピークを迎えましたが、以後減少傾向が続いています。—昨年 は 2 年振りに増加に転じましたが、ふたたび減少に転じています。

（表 1、図 1）

表 1 人口動態総覧、対前年比較

	実 数			率			率（全国）		
	平成 24 年	平成 23 年	増減	増減割合(%)	平均発生間隔	平成 24 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 23 年
出 生	20,112	20,707	△ 595	△ 2.9	26 分 8 秒	7.8	8.0	8.2	8.3
死 亡	25,411	24,733	678	2.7	20 分 41 秒	9.8	9.5	10.0	9.9
（乳児死亡）	39	40	△ 1	△ 2.5	224 時間 37 分	1.9	1.9	2.2	2.3
（新生児死亡）	23	16	7	43.8	380 時間 52 分	1.1	0.8	1.0	1.1
自 然 増 減	△ 5,299	△ 4,026	△ 1,273	31.6	…	△ 2.1	△ 1.6	△ 1.7	△ 1.6
死 産	464	476	△ 12	△ 2.5	18 時間 52 分	22.6	22.5	23.4	23.9
婚 姻	13,188	12,900	288	2.2	39 分 51 秒	5.1	5.0	5.3	5.2
離 婚	4,646	4,713	△ 67	△ 1.4	1 時間 53 分	1.80	1.82	1.87	1.87

注 1 平成 23 年は確定数

2 出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は日本人人口千対、乳児・新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生+死産）千対

3 算出に用いた京都府の人口は、平成 24 年 = 2,584,000 人（「平成 24 年 10 月 1 日現在推計人口（日本人）」）

4 自然増減：出生数から死亡数を減じたもの

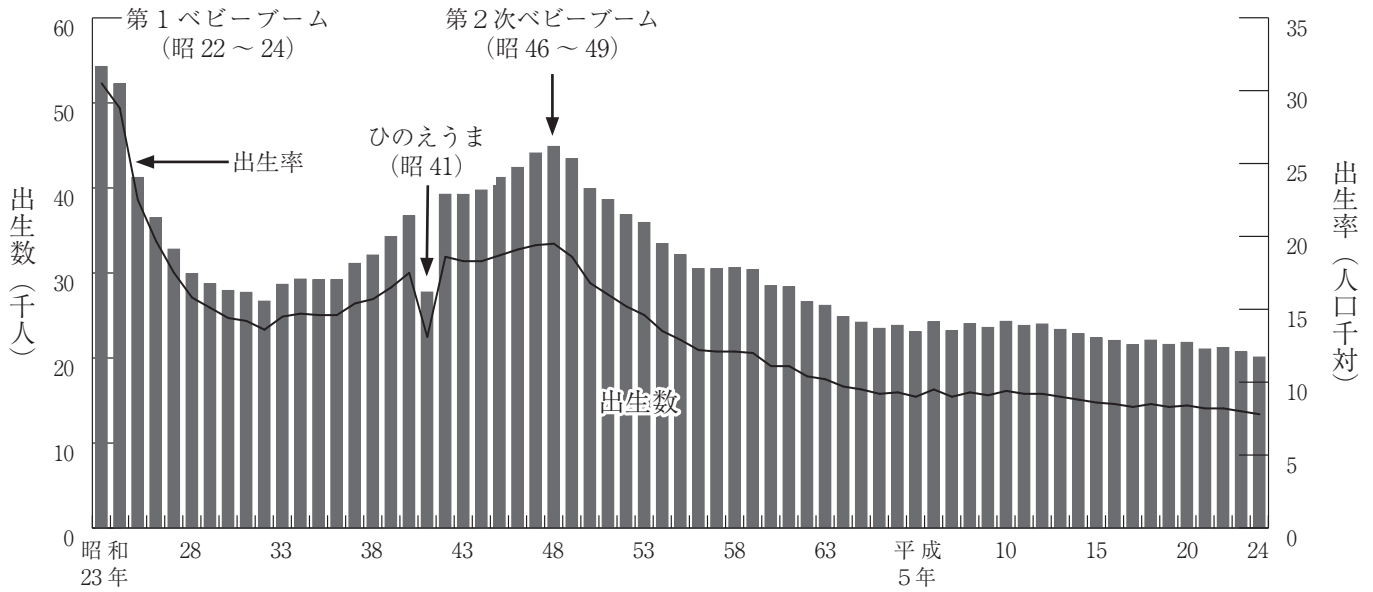
5 乳児死亡：生後 1 年未満の死亡数

6 新生児死亡：乳児死亡のうち、生後 4 週未満の死亡数

7 死産：妊娠満 12 週以後の死産の出産

8 平均発生間隔：1 件当たりの事象発生が、どれだけの間隔をもって発生したかを表したもの

図1 出生数・出生率の年次推移



合計特殊出生率は 1.23

ー前年より 0.02 ポイント減少

全国は 0.02 ポイント上昇ー

平成 24 年の出生率を母の年齢階級別にみると、最も出生率が高かったのは、30～34 歳の層で、出生率は 91.6（出生数 7,240 人）となりました。

30～34 歳の出生率は、昭和 53 年以降上昇傾向にあり、平成 12 年には、25～29 歳の層を上回り、その後も出生数・率とも第 1 位となっております。

第 2 位は、25～29 歳の層で、出生率は 73.3（出生数 5,425 人）となりました。25～29 歳は昭和 47 年（出生率 213.8）をピークに低下傾向が続いています。

第 3 位は 35 歳～39 歳の層で、出生率 48.1（出生数 4,661 人）となり、上昇傾向が続いています。

第 4 位は 20～24 歳の層で出生率 20.0（出生数 1,623 人）と、減少傾向が続いています。

(図 2)

図 2 母の年齢階級別出生率の年次推移 (人口千対)

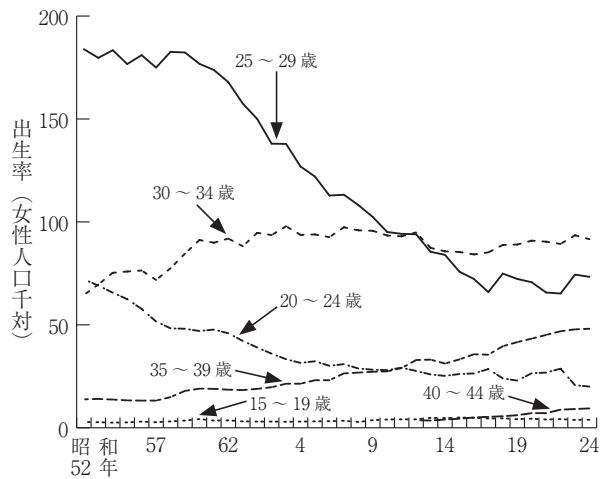


表 2 合計特殊出生率の推移

年次	京都府	全国
昭和 40 年※	2.02	2.14
45 ※	2.02	2.13
50 ※	1.81	1.91
55 ※	1.67	1.75
60 ※	1.68	1.76
平成 2 年※	1.48	1.54
7 ※	1.33	1.42
12 ※	1.28	1.36
17 ※	1.18	1.26
18	1.19	1.32
19	1.18	1.34
20	1.22	1.37
21	1.20	1.37
22 ※	1.28	1.39
23	1.25	1.39
24	1.23	1.41

※は国勢調査年

合計特殊出生率とは、その年の 15 歳から 49 歳までの女性の年齢別出生率を合計した値で、その年の女性の年齢別出生傾向が将来も変わらないと仮定した場合、1 人の女性が一生の間に生む平均の子供の数に相当します。

2 死 亡

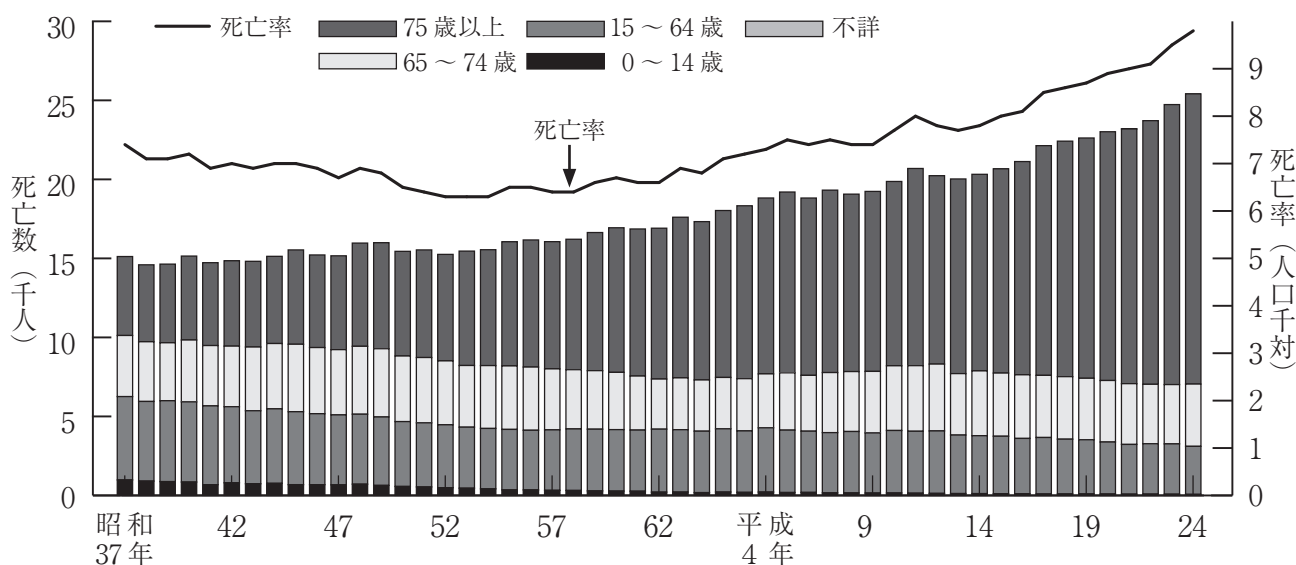
—死亡数・率とも引き続き増加傾向—

平成24年の死亡数は2万5,411人で、前年より678人増加し、死亡率（人口千対）は9.8となり、前年より0.3ポイント上昇しました。（表1）

死亡数の推移をみると、昭和44年以降1万5千人～1万9千人台で推移していましたが、平成11年以降は2万人台になり、以後ゆるやかな増加傾向が続いています。

年齢別死亡数では、0～64歳の世代は前年を下回りましたが、65歳以上の世代は増加しました。死亡率は昭和35年（死亡率7.7）以降低下傾向にあり、52～54年に3年連続6.3と戦後最低を記録した後、ゆるやかな上昇に転じ、平成13年（同7.7）以降は増加傾向が顕著になり、平成24年は9.8となりました。（図3）

図3 死亡数・死亡率の年次推移



3 死 因

—3大生活習慣病（悪性新生物（がん）、心疾患、脳血管疾患）による死亡率が増加—

死因順位の第1位は、悪性新生物（がん）で、5年連続で増加し、平成24年の死亡数は7,566人で、前年より145人増加、死亡率（人口10万対）は292.8で、前年より6.3ポイント上昇しました。悪性新生物による死亡率が総死亡数に占める割合は29.8%でした。

第2位は心疾患の4,314人で、こちらも5年連続で増加し、前年より13人増加、死亡率は167.0で、前年より0.9ポイント上昇しました。第3位は肺炎で、平成24年の死亡数は前年より65人減少の2,479人、死亡率は2.3ポイント減少し、95.9となっています。

第4位は脳血管疾患の2,185人で、死亡率は84.6となり、前年より2.6ポイント上昇しました。

第5位は老衰で、死亡数は1,154人、第6位は不慮の事故で、死亡数は598人でした。自殺は、死亡数が448人となり、前年より72人減少しま

した。自殺死亡率は17.3で、全都道府県で一番低くなりました。

また、悪性新生物、心疾患及び脳血管疾患の3大生活習慣病による死亡が総死亡数に占める割合は、55.4%となりました。（表3、図4）

—悪性新生物（がん）部位別トップは「肺」—

悪性新生物（がん）の主な部位別死亡率（人口10万対）をみると、第1位は前年に引き続き「肺」で死亡率は63.8、前年より3.2ポイント上昇しました。

第2位は、平成7年までトップの「胃」で、死亡率は39.9、前年より0.1ポイント上昇しました。第3位は「大腸」で、死亡率は39.6、前年より2.9ポイント上昇しました。第4位は「肝」で、死亡率は23.6、前年より1.5ポイント低下しました。

また、肺、胃、大腸の上位3疾患で悪性新生物死因総数の48.9%を占めています。（図5）

表3 死因順位

死因順位	平成24年	死亡数(人)	死亡率	死亡総数に占める割合(%)	平成23年	死亡数(人)	死亡率	全国(24年)	死亡数(人)	死亡率
第1位	悪性新生物	7,566	292.8	29.8	悪性新生物	7,421	286.5	悪性新生物	360,790	286.4
2	心疾患	4,314	167.0	17.0	心疾患	4,301	166.1	心疾患	198,622	157.7
3	肺炎	2,479	95.9	9.8	肺炎	2,544	98.2	肺炎	123,818	98.3
4	脳血管疾患	2,185	84.6	8.6	脳血管疾患	2,125	82.0	脳血管疾患	121,505	96.5
5	老衰	1,154	44.7	4.5	老衰	915	35.3	老衰	60,669	48.2
6	不慮の事故	598	23.1	2.4	不慮の事故	555	21.4	不慮の事故	40,857	32.4
7	自殺	448	17.3	1.8	自殺	520	20.1	自殺	26,400	21.0
8	腎不全	571	22.1	2.2	腎不全	500	19.3	腎不全	25,061	19.9
9	慢性閉塞性肺疾患	368	14.2	1.4	慢性閉塞性肺疾患	414	16.0	慢性閉塞性肺疾患	16,371	13.0
10	肝疾患	274	10.6	1.1	大動脈瘤及び解離	297	11.5	肝疾患	15,944	12.7

注1 平成23年は確定数
 2 死亡率は人口10万対である。

図4 主要死因別死亡率の年次推移

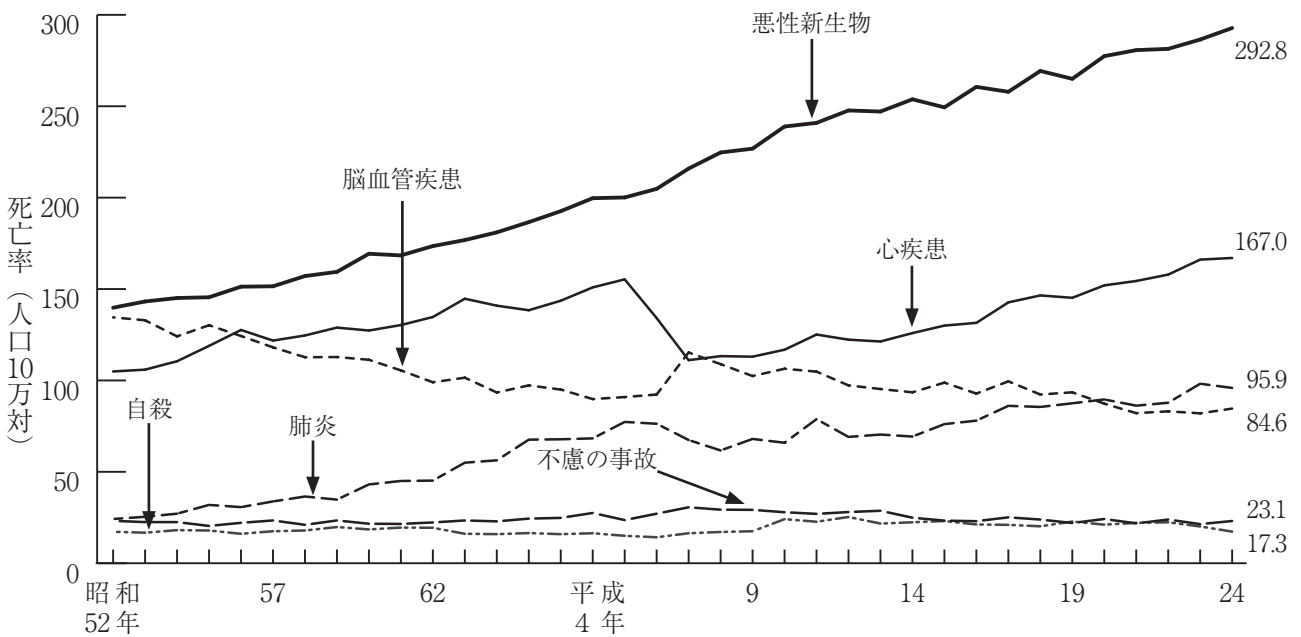
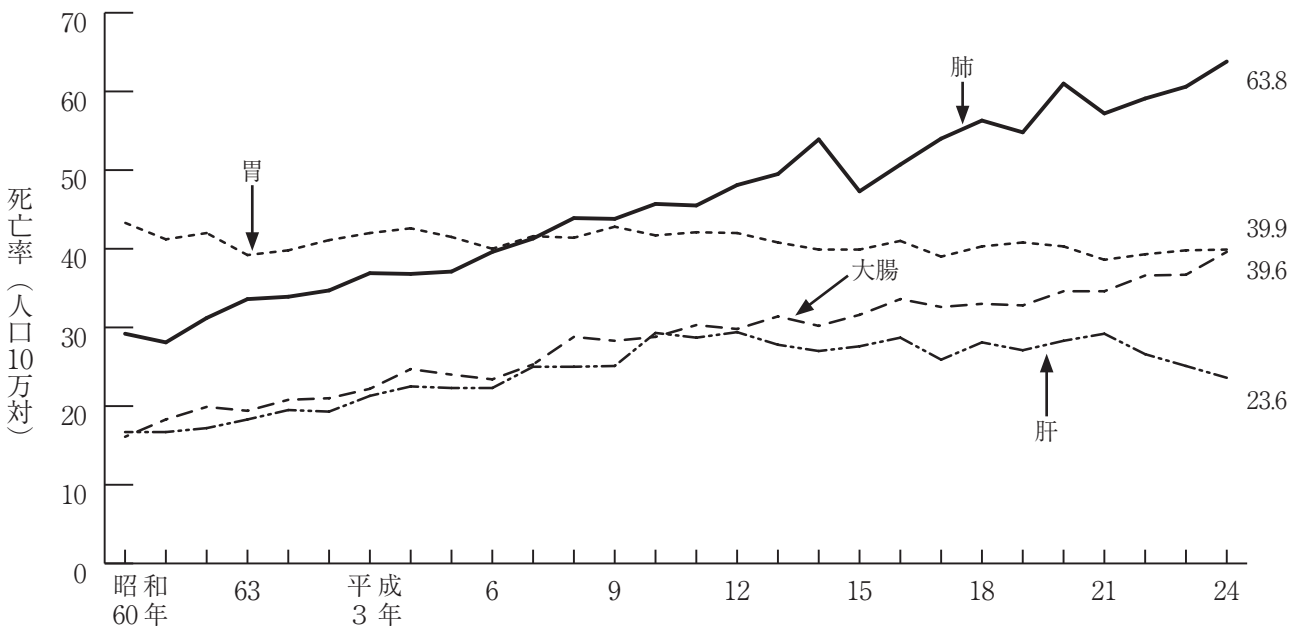


図5 悪性新生物(がん)の主な部位別死亡率の年次推移



男女別死亡率をみると、男の死亡率（人口10万対）は、「肺」が平成3年以降第1位で、24年は92.7となり、前年より3.8ポイント上昇しました。

第2位は「胃」で52.7、前年より1.6ポイント減少しました。

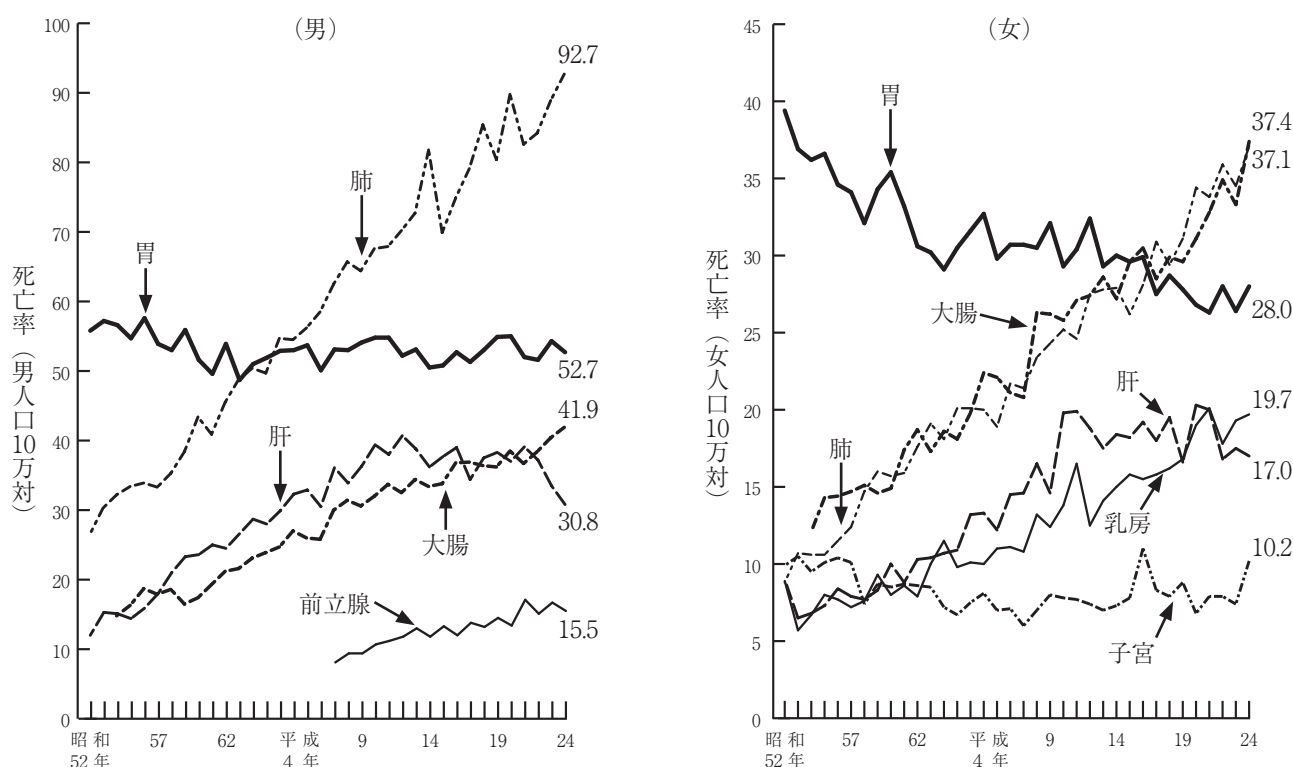
第3位は「大腸」で41.9、第4位は「肝」で

30.8となりました。

女の死亡率（人口10万対）は、37.4で「大腸」が初めて第1位となりました。第2位は「肺」で37.1、第3位は「胃」で28.0となりました。

「乳房」は19.7で、平成3年以降引き続き増加傾向にあります。「子宮」は10.2で、昨年より2.8上昇しました。（図6）

図6 悪性新生物（がん）の性別・主な部位別死亡率の年次推移



- 注1 文中、図5及び図6において肺とは、気管、気管支及び肺の悪性新生物である。
- 注2 文中、図5及び図6において大腸とは、結腸と直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物である
- 注3 文中、図5及び図6において肝とは、肝及び肝内胆管の悪性新生物である。
- 注4 図6において大腸の昭和53年以前の数値は、旧厚生省で集計されていないため不明である。
- 注5 図6において前立腺の平成7年以前の数値は、旧厚生省で集計されていないため不明である。

4 乳児死亡・新生児死亡

一乳児死亡率は横ばい、新生児死亡率は0.3ポイント上昇一

平成24年の乳児死亡数は39人で、前年より1人減少し、乳児死亡率（出生千対）は1.9で、前年と同率でした。

新生児死亡数は23人で、前年より7人増加し、新生児死亡率（出生千対）は1.1で、前年より0.3ポイント上昇しました。（表1）

5 自然増減

一過去最大の減少数一

平成24年の出生数から死亡数を減じた自然増減数は、前年より1,273人増加の、マイナス5,299人となり、明治32年に現在の形で統計を開始してから、これまでで最大の減少数となりまし

た。自然増減数は、出生数の減少傾向、死亡数の上昇傾向の双方を反映して低下傾向にあります。

自然増減率（人口千対）はマイナス2.1で、前年より0.5ポイント低下しました。（表1）

6 死産

—死産率は0.1ポイント上昇—

平成24年の死産数は464胎で前年より12減少、死産率（出産千対）は22.6と、前年より0.1ポ

イント上昇しました。

（表1）

7 婚姻

—平均初婚年齢夫は31.1歳、妻は29.5歳

晩婚化 緩やかに進行—

平成24年の婚姻件数は1万3,188組で前年より288組増加し、婚姻率（人口千対）は5.1で、前年より0.1ポイント増加しました。

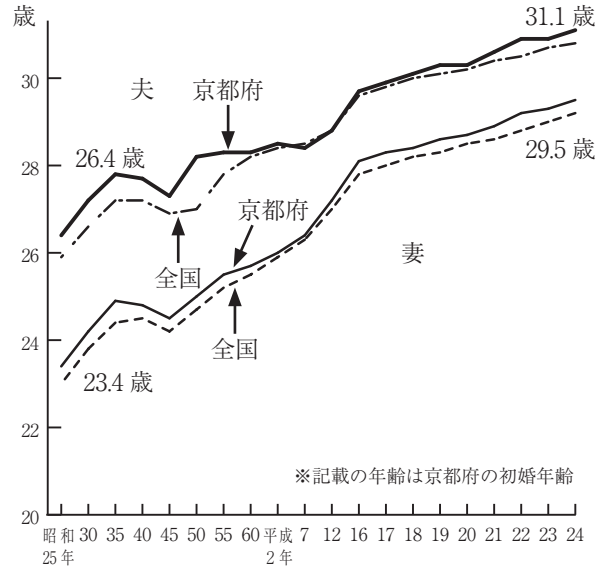
（表1）

また、平均初婚年齢は、夫31.1歳、妻29.5歳で、男女ともに0.2歳前年より上昇しました。

平均初婚年齢の推移をみると、昭和25年以降は上昇傾向が続き、昭和25年（夫＝26.4歳、妻＝23.4歳）と比べると、夫は4.7歳、妻は6.1歳上昇しており、男女とも晩婚化が進んでいます。

（図7）

図7 平均初婚年齢の推移



8 離婚

—離婚件数、離婚率ともに減少—

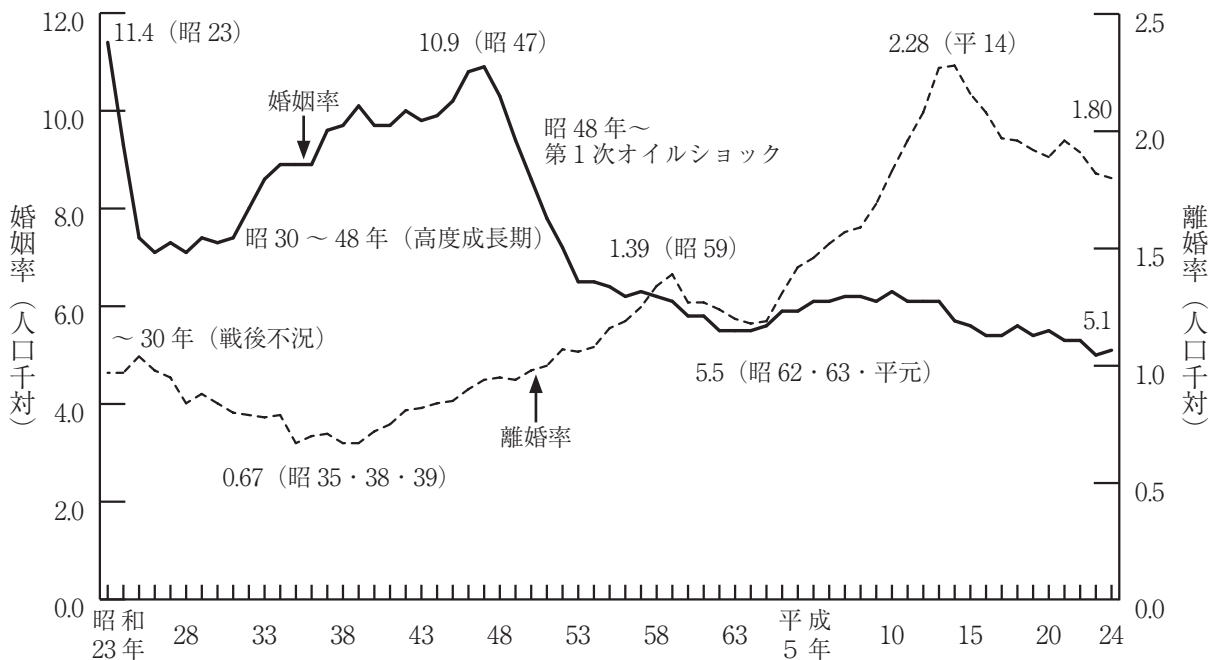
平成24年の離婚件数は4,646組で、前年より67組減少し、離婚率（人口千対）は1.80となり、前年より0.02ポイント低下しました。

離婚率の推移をみると昭和35年、38年、39年に戦後最低（離婚率0.67）となった後上昇し、

59年以降低下していましたが、平成2年から再び上昇に転じ、平成14年には過去最高の2.28を記録し、その後は減少傾向が続いています。

（図8）

図8 婚姻率・離婚率の年次推移



第1表 人口動態（概数）保健所、市町村別（平成24年）

区 分	出生数			死亡数			乳 児 死亡数	新生児 死亡数	死 産 数	婚 件	姻 数	離 件	婚 数	自 然 増加数
	総数	男	女	総数	男	女								
総 数	20,112	10,442	9,670	25,411	12,824	12,587	39	23	464	13,188	4,646	△ 5,299		
京 都 市	11,050	5,748	5,302	13,979	6,912	7,067	19	12	255	8,035	2,710	△ 2,929		
その他の市町村	9,062	4,694	4,368	11,432	5,912	5,520	20	11	209	5,153	1,936	△ 2,370		
乙 訓 保 健 所	1,210	622	588	1,165	624	541	2	1	30	738	224	45		
向 日 市	417	219	198	406	224	182	1	0	13	240	82	11		
長 岡 京 市	671	335	336	615	318	297	1	1	15	431	123	56		
大 山 崎 町	122	68	54	144	82	62	0	0	2	67	19	△ 22		
山 城 北 保 健 所	3,422	1,773	1,649	3,650	1,960	1,690	5	4	71	1,913	757	△ 228		
宇 治 市	1,497	777	720	1,542	823	719	1	1	38	843	351	△ 45		
城 陽 市	569	306	263	679	360	319	1	1	13	320	120	△ 110		
八 幡 市	543	263	280	623	356	267	0	0	12	327	137	△ 80		
京 田 辺 市	563	305	258	500	251	249	3	2	5	272	82	63		
久 御 山 町	139	65	74	111	67	44	0	0	2	80	35	28		
井 手 町	49	25	24	88	47	41	0	0	1	35	16	△ 39		
宇 治 田 原 町	62	32	30	107	56	51	0	0	0	36	16	△ 45		
山 城 南 保 健 所	1,026	549	477	954	502	452	0	0	19	505	195	72		
木 津 川 市	716	385	331	582	303	279	0	0	13	310	133	134		
笠 置 町	5	3	2	27	16	11	0	0	0	8	1	△ 22		
和 束 町	17	12	5	62	32	30	0	0	0	19	10	△ 45		
精 華 町	282	145	137	236	125	111	0	0	5	155	47	46		
南 山 城 村	6	4	2	47	26	21	0	0	1	13	4	△ 41		
南 丹 保 健 所	983	511	472	1,540	764	776	4	0	17	572	249	△ 557		
亀 岡 市	676	359	317	845	434	411	3	0	8	388	161	△ 169		
南 丹 市	233	118	115	452	210	242	1	0	5	129	66	△ 219		
京 丹 波 町	74	34	40	243	120	123	0	0	4	55	22	△ 169		
中 丹 西 保 健 所	783	417	366	957	473	484	4	3	24	462	162	△ 174		
福 知 山 市	783	417	366	957	473	484	4	3	24	462	162	△ 174		
中 丹 東 保 健 所	992	496	496	1,665	836	829	5	3	28	590	212	△ 673		
舞 鶴 市	758	368	390	1,113	563	550	2	1	22	461	146	△ 355		
綾 部 市	234	128	106	552	273	279	3	2	6	129	66	△ 318		
丹 後 保 健 所	646	326	320	1,501	753	748	0	0	20	373	137	△ 855		
宮 津 市	117	59	58	297	148	149	0	0	2	57	25	△ 180		
京 丹 後 市	357	178	179	832	422	410	0	0	16	217	70	△ 475		
伊 根 町	16	9	7	61	29	32	0	0	0	15	3	△ 45		
与 謝 野 町	156	80	76	311	154	157	0	0	2	84	39	△ 155		

第2表 人口動態統計 実数及び率の年次推移

区 分	出生		死亡		乳児死亡		死産		婚姻		離婚		自然増加	
	実数	率 (人口千対)	実数	率 (人口千対)	実数	率 (出生千対)	実数	率 (出産千対)	実数	率 (人口千対)	実数	率 (人口千対)	実数	率 (人口千対)
昭和22年	53,828	31.0	25,686	14.8	3,705	68.8	2,429	43.2	18,294	10.5	1,750	1.01	28,142	16.2
23	54,287	30.5	19,892	11.2	2,866	52.8	2,920	51.0	20,285	11.4	1,727	0.97	34,395	19.3
24	52,248	28.8	19,638	10.8	2,058	39.4	4,313	76.2	16,916	9.3	1,765	0.97	32,610	18.0
25	41,236	22.5	17,850	9.7	2,079	50.4	4,587	100.1	13,643	7.4	1,903	1.04	23,386	12.8
26	36,493	19.7	16,341	8.8	1,804	49.4	4,452	108.7	13,168	7.1	1,813	0.98	20,152	10.9
27	32,802	17.5	15,417	8.2	1,401	42.7	3,943	107.3	13,705	7.3	1,788	0.95	17,385	9.3
28	29,907	15.8	15,562	8.2	1,237	41.4	3,672	109.4	13,388	7.1	1,591	0.84	14,345	7.6
29	28,717	15.1	14,139	7.4	1,089	37.9	3,516	109.1	14,109	7.4	1,673	0.88	14,578	7.7
30	27,943	14.4	13,797	7.1	909	32.5	3,319	106.2	14,079	7.3	1,630	0.84	14,146	7.3
31	27,724	14.2	15,081	7.7	963	34.7	3,285	105.9	14,488	7.4	1,560	0.80	12,643	6.5
32	26,688	13.6	15,549	7.9	843	31.6	3,234	108.1	15,685	8.0	1,556	0.79	11,139	5.7
33	28,665	14.5	14,356	7.3	811	28.3	3,455	107.6	17,041	8.6	1,535	0.78	14,309	7.2
34	29,282	14.7	14,610	7.3	818	27.9	3,479	106.2	17,651	8.9	1,577	0.79	14,672	7.4
35	29,194	14.6	15,265	7.7	747	25.6	3,356	103.1	17,709	8.9	1,327	0.67	13,929	7.0
36	29,213	14.6	14,866	7.4	746	25.5	3,372	103.5	17,960	8.9	1,410	0.70	14,347	7.1
37	31,129	15.4	15,080	7.4	695	22.3	3,468	100.2	19,459	9.6	1,437	0.71	16,049	7.9
38	32,108	15.7	14,555	7.1	638	19.9	3,399	95.7	19,931	9.7	1,379	0.67	17,553	8.6
39	34,258	16.5	14,613	7.1	612	17.9	3,395	90.2	20,941	10.1	1,396	0.67	19,654	9.5
40	36,703	17.5	15,109	7.2	587	16.0	3,284	82.1	20,310	9.7	1,520	0.72	21,594	10.3
41	27,755	13.1	14,732	6.9	475	17.1	2,858	93.4	20,513	9.7	1,587	0.75	13,023	6.1
42	39,254	18.6	14,813	7.0	573	14.6	2,902	68.8	21,160	10.0	1,718	0.81	24,441	11.6
43	39,240	18.3	14,868	6.9	521	13.3	2,882	68.4	21,098	9.8	1,755	0.82	24,372	11.4
44	39,750	18.3	15,135	7.0	575	14.5	2,813	66.1	21,440	9.9	1,822	0.84	24,615	11.3
45	41,235	18.7	15,577	7.0	481	11.7	2,704	61.5	22,621	10.2	1,871	0.85	35,658	11.6
46	42,413	19.1	15,279	6.9	494	11.6	2,692	59.7	24,143	10.8	2,000	0.90	27,134	12.2
47	44,107	19.4	15,208	6.7	454	10.3	2,535	54.4	24,826	10.9	2,135	0.94	28,899	12.7
48	44,885	19.5	15,995	6.9	478	10.6	2,509	52.9	23,850	10.3	2,201	0.95	28,890	12.5
49	43,438	18.6	15,986	6.8	433	10.0	2,379	51.9	21,851	9.4	2,192	0.94	27,452	11.8
50	39,921	16.8	15,460	6.5	353	8.8	2,192	52.1	20,514	8.6	2,329	0.98	24,461	10.3
51	38,636	16.0	15,544	6.4	344	8.9	2,359	57.5	28,738	7.8	2,401	1.00	23,092	9.6
52	36,870	15.2	15,260	6.3	303	8.2	1,995	51.3	17,507	7.2	2,599	1.07	21,610	8.9
53	35,943	14.6	15,464	6.3	289	8.0	1,810	47.9	16,031	6.5	2,590	1.06	20,479	8.3
54	33,464	13.5	15,553	6.3	240	7.2	1,698	48.3	16,117	6.5	2,661	1.08	17,911	7.2
55	32,139	12.9	16,059	6.5	209	6.5	1,622	48.0	15,916	6.4	2,884	1.16	16,080	6.5
56	30,498	12.2	16,174	6.5	200	6.6	1,662	51.7	15,571	6.2	2,980	1.19	14,324	5.7
57	30,493	12.1	16,059	6.4	194	6.4	1,522	47.5	15,794	6.3	3,134	1.25	14,434	5.7
58	30,627	12.1	16,214	6.4	193	6.3	1,435	44.8	15,776	6.2	3,382	1.34	14,413	5.7
59	30,390	12.0	16,637	6.6	181	6.0	1,325	41.8	15,370	6.1	3,529	1.39	13,753	5.4
60	28,479	11.1	16,942	6.6	143	5.0	1,360	45.6	14,932	5.8	3,248	1.27	11,537	4.5
61	28,358	11.1	16,864	6.6	148	5.2	1,282	43.3	14,839	5.8	3,241	1.27	11,494	4.5
62	26,603	10.4	16,912	6.6	121	4.5	1,252	44.9	14,025	5.5	3,179	1.24	9,691	3.8
63	26,192	10.2	17,608	6.9	135	5.2	1,093	40.1	14,076	5.5	3,071	1.20	8,584	3.4
平成元年	24,855	9.7	17,327	6.8	99	4.0	1,015	39.2	14,026	5.5	3,021	1.18	7,528	2.9
2	24,209	9.5	18,031	7.1	118	4.9	1,039	41.2	14,337	5.6	3,050	1.19	6,178	2.4
3	23,487	9.2	18,331	7.2	111	4.7	947	38.8	15,018	5.9	3,346	1.31	5,156	2.0
4	23,838	9.3	18,822	7.3	129	5.4	919	37.1	15,101	5.9	3,640	1.42	5,016	2.0
5	23,082	9.0	19,202	7.5	125	5.4	826	34.5	15,647	6.1	3,738	1.46	3,880	1.5
6	24,245	9.5	18,821	7.4	122	5.0	838	33.4	15,716	6.1	3,891	1.52	5,424	2.1
7	23,219	9.0	19,321	7.5	97	4.2	777	32.4	15,887	6.2	4,047	1.57	3,898	1.5
8	24,023	9.3	19,068	7.4	95	4.0	748	30.2	16,153	6.2	4,115	1.59	4,955	1.9
9	23,595	9.1	19,239	7.4	91	3.9	701	28.9	15,869	6.1	4,384	1.69	4,356	1.7
10	24,312	9.4	19,868	7.7	79	3.2	736	29.4	16,273	6.3	4,732	1.83	4,444	1.7
11	23,831	9.2	20,690	8.0	95	4.0	699	28.5	15,682	6.1	5,089	1.96	3,141	1.2
12	23,997	9.2	20,233	7.8	78	3.3	694	28.1	15,781	6.1	5,403	2.08	3,763	1.4
13	23,364	9.0	20,027	7.7	60	2.6	698	29.0	15,775	6.1	5,903	2.27	3,336	1.3
14	22,859	8.8	20,320	7.8	68	3.0	702	29.8	14,899	5.7	5,922	2.28	2,539	1.2
15	22,371	8.6	20,669	8.0	67	3.0	664	28.8	14,478	5.6	5,612	2.16	1,702	0.7
16	22,066	8.5	21,126	8.1	63	2.9	721	31.6	14,127	5.4	5,408	2.08	940	0.4
17	21,560	8.3	22,134	8.5	54	2.5	600	27.1	14,030	5.4	5,116	1.97	△ 574	△ 0.2
18	22,100	8.5	22,419	8.6	48	2.2	559	24.7	14,477	5.6	5,091	1.96	△ 319	△ 0.1
19	21,597	8.3	22,619	8.7	51	2.4	521	23.6	13,978	5.4	4,962	1.92	△ 1,022	△ 0.4
20	21,842	8.4	23,015	8.9	54	2.5	507	22.7	14,239	5.5	4,877	1.89	△ 1,173	△ 0.5
21	21,058	8.2	23,191	9.0	44	2.1	432	20.1	13,640	5.3	5,054	1.96	△ 2,133	△ 0.8
22	21,234	8.2	23,714	9.1	52	2.4	482	22.2	13,664	5.3	4,964	1.91	△ 2,480	△ 1.0
23	20,707	8.0	24,733	9.5	40	1.9	476	22.5	12,900	5.0	4,713	1.82	△ 4,026	△ 1.6
24	20,112	7.8	25,411	9.8	39	1.9	464	22.6	13,188	5.1	4,646	1.80	△ 5,299	△ 2.1

注 平成24年は概数である。